



新潟市立庄瀬小学校 令和5年度 学校だより
～人、まち、自然がわたしたち「みんな」の学校～



ひまわり

令和5年9月14日

変わっていかねければ

プール開放が暑さで中止になるなど、記録的な猛暑が続いた夏休みでしたが、大きな事故やけが等もなく、みんなが元気に過ごしてくれていたようです。

さて、休み中、甲子園の高校野球やバスケットのワールドカップに熱中（熱狂）した方も多かったと思います。私も熱中していましたが、テレビを観ながら、指導者（リーダー）の姿が変わってきたなと感じました。私たち大人がもっているリーダー像は、厳しく、ぐいぐいと選手を引っ張り、「俺に付いてこい！」と強いリーダーシップを発揮する支配型のリーダーではないでしょうか。しかし、慶応高校や仙台育英高校の監督さんやバスケットのホーバスヘッドコーチ、WBCの栗山監督もそうですが、最近結果を残している指導者（リーダー）は、練習自体は当然厳しいですが、選手に寄り添う、選手に任せる、選手を信じる部分がとても大きくなっています。リーダー像が「支配型」から「支援型」に変わってきています。

これは、学校でも同じことが言えます。これまでの授業は、教師主導の一斉指導で教え込むことが当たり前でした。私自身の授業を振り返っても、「支配型」とまでは言いませんが、教師主導であったことは間違いありません。しかし、これから子どもたちが生きていく時代は、予測困難な時代と言われています。そこでは、言われたことを真面目にやり通す力だけではなく、「自分で考え、自ら行動する力」が不可欠となります。

そのためには授業の形も変えていかねければなりません。子どもがタブレットを活用して、教師や友達の力を借りながら自己の課題解決を図っていく授業がスタンダードとなっていきます。そうした授業ができるように、私たち教員は、子どもの学習を「支援（サポート）する」伴走者となるために研修や自己研鑽に励んでいきます。

健闘を見せる

7月26日（水）にビッグスワンで行われた新潟市陸上競技記録会に5、6年生の選手12名が参加しました。暑い日が続く練習時間を制限された中でしたが、多くの選手が自己ベストを出し、満足感を得ることができました。



【入賞】 5年女子走り幅跳び 第9位 針貝 海良 記録 315cm

自己ベストを目指して

連日の暑さが若干和らいだ6日（水）に、27日（水）の持久走記録会に向けて、全学年で試走を行いました。4名のボランティアの皆さんに声を掛けてもらいながら、必死の表情で走っていました。今週から持久走強調週間が始まりました。暑さのために練習ができない状態ですが、気温が下がってきたら、試走の記録からどれだけ伸ばせるかを目標にして、練習に取り組んでいきます。

これから、家での練習に取り組む子もいると思います。もう少し涼しくなり、走りやすい時期になりましたら、保護者の皆さんも、お子さんと一緒に健康づくりに取り組んでみてはいかがでしょうか。



(暑さ対策のため応援席にテントを設置しました)

黄金の実りを収穫する

11日（月）に学校田の稲刈りを行いました。17名のボランティアの皆さんが4、5年生の作業をサポートしてくださいました。素人目には例年通り実っているように見えてましたが、暑さの影響を確実に受けているそうです。

5年生は夏休みの猛暑の中でも水の管理を頑張ってくれていました。稲の世話をする苦勞を味わった分、収穫の喜びも大きかったことと思います。今度は今の4年生が庄瀬小の良き伝統を引き継いでいってくれるはずです。

稲刈り作業では、鎌で稲を刈り取って、10株程度の束にしてそれらをまるけ（束ね）ていきました。束ねた稲は体育館前のフェンスにはさ掛けをしました。

米づくりのベテランのボランティアさんからアドバイスをいただきながら、たくさんのお話を学べた稲刈り体験でした。



「レインボーロード」を楽しんでください

マリーゴールドとベゴニアのプランターを置いた学校前の歩道の名前が、子どもたちの投票の結果「レインボーロード」に決定しました。

夏の暑さで弱った花もありますが、ひまわり班ごとの朝の水やりを再開し、地域の皆さんの目を楽しませられるといいなと思います。

(文責：校長 平出 靖)